

中央区の“ちょっとすごい!”を見て歩き

中央区まちかど展示館



2025
Summer
Vol.18
月島編 Part.3

TAKE
FREE

展示館の成り立ちやポイントとは？
まちかど展示館訪問
水辺の景色とともにまちを楽しむ
月島エリア散策MAP
〔連載〕
中央区の食とアートを知る
食の痕跡、絵画の道楽

江戸時代から進化し続ける、懐かしさと先進性のまち
佃・勝どき・晴海
「特集」知って歩こう！「町名の由来」

中央区まちかど展示館公式SNS



ホームページURL

<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp>



季刊誌 中央区まちかど展示館 Information

既刊Vol.01～Vol.17もダウンロードできます



Vol.01 日本橋編
Vol.02 銀座・京橋／月島編
Vol.03 総集編
Vol.04 月島編
Vol.05 日本橋編 Part.1
Vol.06 銀座・京橋編 Part.1
Vol.07 日本橋編 Part.2
Vol.08 日本橋編 Part.3
Vol.09 銀座・京橋編 Part.2
Vol.10 日本橋編 Part.4
Vol.11 月島編 Part.2
Vol.12 日本橋編 Part.5
Vol.13 銀座・京橋編 Part.3
Vol.14 日本橋編 Part.6
Vol.15 日本橋編 Part.7
Vol.16 銀座・京橋編 Part.4
Vol.17 日本橋編 Part.8

中央区まちかど展示館ウェブサイト季刊誌ダウンロードページ
<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/book.html>

次号Vol.19は日本橋編です。江戸文化を今に伝える各展示館を訪問します。お楽しみに！

◎発行日:2025年7月9日

◎発行:中央区まちかど展示館運営協議会(中央区民部文化・生涯学習課内) tel: 03-3546-5346 mail: b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp

◎制作:Asaba & Co ◎デザイン:AD・NA ◎撮影:kt-design ◎文:秋元祐子・沖山純久 ◎イラスト:堀口珠美

POST CARD

1 0 4 - 8 4 0 4

恐れ入りますが
85円切手を
貼って
お出ください。

中央区築地1-1-1 中央区役所(文化・生涯学習課内)
中央区まちかど展示館運営協議会
中央区まちかど展示館アンケート 係行

差し支えない範囲でご記入ください。

お客様の個人情報は、本紙アンケートの目的のみに使用されるもので、その他に使用することはありません。
当選された方には、下記住所に票品を送付いたしますので、お間違いないようご記入ください。

◎ご住所 〒

◎お名前

◎電話

◎メールアドレス

◎職業

◎年齢

知って歩こう！「町名の由来」

新企画

町の名前には、地域のごまごまな歴史や人の想いが込められています。その由来を知れば、まちがもっと身近になるはず。貴重な画像と共にご紹介します。

佃

隅田川河口にあった干潟を、江戸初期、摂津国西成郡佃村の漁師達が徳川家康より拝領して造成したのが佃島。また、幕府の船手頭・石川八左衛門が、家光より拝領して屋敷を構えたのが石川島です。以降埋め立てで地続きとなり、明治時代に南に拡張されて、明治中期に町域が完成。昭和42年、佃となりました。



富嶽三十六景 武陽 佃嶋／葛飾北斎(1830~41年)



東京明細図会 佃島灯台下夕干／歌川広重(3代目)(明治初期)

幕末に人足寄場に設けられた、六角二層の常夜灯



現在

人足寄場は明治10年に石川島監獄署となり、後に巣鴨へ移転。跡地にはモニュメントが。



佃島盆踊りは東京都指定の無形民俗文化財



現在

佃小橋を渡った先、道路の突き当りに佃まちかど展示館。

東京名所十二ヶ月七月 佃島盆おどり／昇斎 一景(1871年)

長谷川平蔵が提案した人足寄場とは？

正式には加役方(かやくかた)人足寄場と言い、江戸幕府が寛政2(1790)年に石川島に設けた無宿人収容所です。火付盗賊方・長谷川平蔵宣以(のぶため)が、老中・松平定信に献策し、建設、運営することに。戸籍を外された無宿者や刑期を終えた軽犯罪人を3年収容、大工、建具、塗物等の技術を修得させ、作業手当を支給して更生資金に充てさせました。生活指導も行いましたが、収容者が問題を起こすことも多かったとか。



晴海

昭和12年に晴海町町名は当時の京橋区議会で「いつも晴れた海を望む」という希望から決定され、昭和40年晴海に。



晴海の自動車ショー／土松由仁撮影(昭和37年頃)



東京2020オリンピック・パラリンピックの選手村として使われ、大会後、大規模な街区・晴海フラッグが誕生。

現在



晴海／中央区撮影(昭和34年)

トリオンスクアの誕生前晴海高層アパートもあった右の橋は晴月橋

奥が勝開橋橋上を走っていた都電は昭和43年に廃止済み



勝どき一丁目・晴海通り／中央区撮影(昭和47年)

月島

明治20年以降の埋め立てによりできたエリア。東京湾内に月の岬という観月の名所があったことにちなみ、当時の東京市参事会の決議で命名。



月島西仲通り商店街一西仲通四丁目付近／京橋図書館撮影(昭和30年頃)

もんじゃ以前は庶民のための商店街今も営業するお店も！

勝どき・豊海町

勝どきは明治から大正にかけて完成した埋立地で、勝開橋から命名。橋名の由来は、日露戦争の旅順陥落の際に開設した勝開の渡しです。豊海町は、昭和38年に完成した埋立地で、町名は住民アンケートから。

佃まちかど展示館

下町情緒漂うまちの誇りは、佃小橋の先に鎮座する庄巻の千貫神輿。



「佃」をさりげなく主張する
粋な意匠の環路。

東京で一番大きいといわれ、別名
「千貫神輿」の圧倒的な貫禄。



今も昔も変わらぬ祭りの熱気。
左奥に八角形の宮神輿が*。



佃町内を練り歩く大神輿。
担ぎ手の鉢巻に揃衣(そろい)が粋!*



大織と赤い鳥居を過ぎ、
船渡御に向かう宮神輿*。



大織の18メートルの柱と柱を支える
抱木6組の保管
場所は佃堀の
川底。



立札からも
佃の祭りの
伝統が伝わっ
てくる。



「龍虎」は二本
角の「龍頭」と
大きな耳の「虎
頭」が対に*。



獅子頭には希少な黒漆
の「黒駒」。頭頂に一本
の角がある方が雄*。

*獅子頭は三が日及び
住吉神社例祭の陰祭
の時期を除きパネル
での展示となります。



先頭で獅子頭を
元気に担ぐのは
13歳の金子さん*。

獅子頭の宮出しも
迫力があって
見応えがありますよ



お話を伺った方
佃一丁目町会(佃住吉講)
金子 行雄さん



獅子頭は巡行の後「獅子の庭」という
葦簀張りの小屋に安置される*。



佃まちかど展示館

管理者:佃一丁目町会(平成23年度認定)

- ④ 東京都中央区佃1-2-10 先
- ④ 03-3546-5346 中央区区民部文化・生涯学習課内
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く)9:00～17:00
- ④ 通年 ② 常時開館
- ④ ⑤ 月島駅6番出口徒歩5分



べるため、熱湯に浸したけど塗り
は全く剥げなかったとか。また「龍
虎」は佃が江戸の大火の延焼の危
機に晒された時、龍頭は水を、虎
頭は砂を吐いて、火を消したと言
い伝えられています。関東大震災
や戦災でも大きな被害が出なかつ
たのは獅子のお陰だったという人
もいましたよ。佃には、ほかにも三
対の獅子があり、これは大祭の際、
宮神輿の渡御の前日に巡幸路の邪
気を祓うために巡行するんです。

— 獅子頭の伝説とは? —
文政年間(1818年～1830
年)につくられたと言われる「龍
虎」と「黒駒」という二対の獅子頭
にはいくつかの口伝があつて。例え
ば「黒駒」は昔、漆塗りの品質を調

— 佃の宮元神輿の特徴は? —
とにかく、デカくて重いことだよ
(笑)。佃で生まれ育つて、この神輿
しか知らない子どもが、ある時ほ
かのまちの神輿を見て「これは子
ども神輿?」って聞いたぐらいです
よ。もとは終戦後に千葉の寒川神
社の宮神輿として新調されたんで
すが、あまりの重さに200人の怪
我人を出したというエピソードが
あつて。その大きさと重量のために
その後、人形町末廣神社を経て、
昭和34(1959)年に佃住吉講が
譲り受けたんですよ。で、担ぎ棒が
あまりに長く、狭い佃のまちでは
角が曲がりきれないので、短く切つ
たんです。それと堂を開く飾りの
環路には「佃」の文字が入っている
のもポイントです。

石川島資料館

石川島の歴史は、日本の重工業の変遷そのもの。



多彩な展示品で石川島と重工業の歴史を克明に記録した資料館。



明治37(1904)年頃の石川島造船所。



民間で初の蒸気船を製造する様子をジオラマで再現。



平野富二
弘化3～明治25(1846～92)年



伊沢栄一
天保11～昭和6
(1840～1931)年



壁面いっぱいに構成された「時代をつくる」ゾーン。



「重工業はじめてものがたり」の写真パネル。多様な工業製品の模型。

民間の造船所で建造された初の鉄製軍艦。



土光敏夫
明治29～昭和63(1896～1988)年



ありし日の佃工場と佃島の地図模型。



お話を伺った方
コーポレートコミュニケーション部
ブランド・エンゲージメント推進担当
竹内 祐子さん

歴史的な
工業製品が
たくさんあります



石川島資料館

管理者：株式会社IHI(平成24年度認定)

- ◎ 東京都中央区佃1-11-8 ヒアウエストスクエア1F
- ◎ 03-5548-2571 ◎ 水・土曜日(年末年始等を除く)
- ◎ 10:00～12:00、13:00～17:00(入館は16:30まで)
- ◎ 月島駅6番出口 徒歩6分
- ◎ <https://www.ihl.co.jp/shiryokan/>

栄で、のちに会長も務めています。数え切れないほどの会社経営に携わった伊沢ですが、就任期間は16年という異例の長さでした。土光敏夫は、昭和25(1950)年に社長に就任し、経営再建を果たしました。彼は会社の再建には従業員とのコミュニケーションが必要と考え、社内報の発行を思い立ちます。就任の翌年正月の初出社の日に門前に立ち、出社して来る従業員一人一人に手渡したといいます。以来、社内報は、今日まで途切れることなく続いています。

資料館の開設はいつですか？
オープンには1998年5月ですから、はや27年目になります。この地にはIHIの前身である石川島造船所が嘉永6(1853)年に開設されました。以来、造船をはじめ重工業の草分けとして多くの製品を生んできました。この施設では、IHIが当地で果たしてきた役割を、独自の演出でわかりやすくお伝えしています。館内は5つのゾーンで構成され、ジオラマや精巧な模型、イラストや写真、豊富な資料でIHIの歴史に触れることができます。また、自社の業績のみならず、石川島と佃島の歴史や文化に触れ、工場で働く人々や地域での生活を再現していることも大きな特徴です。

3人の経営者について？

IHIの前身・石川島平野造船所の創始者が平野富二です。彼は活版印刷の普及にも貢献するなど、明治産業近代化のパイオニアでした。そして彼の説く造船業の重要性に賛同し、出資に協力したのが伊沢

ふるさと晴海資料展示館

近未来都市へ成長し続ける地で、神輿が人々の絆を深めていく。



完成した町神輿の前で、連合町会役員と晴海睦会が揃って記念撮影。



青貝を細かく砕いて螺鈿仕上げした豪華な屋根と吹き返し。



「いつも晴れた海に臨みたい」という町名の由来に相応しい色の環駁。



絢爛豪華ななかにも力強さをもった二尺五寸の大神輿と子神輿、山車。

―神輿完成までの経緯は？―

平成23(2011)年に神輿は完成しましたが、調査や構想に2年、製作に2年を要しました。都内や地方の祭りにも出掛けて、神輿を撮影し、飾り物や細部もしっかり記録してきました。担ぎ手にも取材をし、多くの人が楽しんで担げる重さも検討したんです。製作は浅草の宮本卯之助商店に依頼しました。私は出来る限り製作現場に足を運びました。すると親しくなった職人さんたちから「ここまでできました」とか、「ここはどうしましょうか?」なんて声をかけられるようになり、現場で注文をつけるなんてこともありました。こうして、地域の長年の夢だった神輿が完成したんです。

―神輿づくりの拘りの点は？―

まず、晴海らしい「ブルー」を表現しようと。屋根は漆では思うような色が出ず、たどり着いたのが螺鈿で、光の具合で青にも緑にも見えるんです。佃の祭りは水掛けで

住民の皆さんに愛してもらえる神輿を目指しました



お話を伺った方
晴海連合町会 会長
滝浪 誠さん



夜間はライトアップされる展示館。昼間とは違う煌びやかな姿の神輿。ベイエリアの夜景も楽しめます。



神輿を模した形の展示館前には露払いの松が綺麗に並ぶ。

展示館の壁面には、晴海埠頭の歴史などを紹介するパネルが。



近くには晴海臨海公園と晴海運河が流れる素晴らしい眺望が。



ふるさと晴海資料展示館

管理者：晴海連合町会(平成24年度認定)

- 東京都中央区晴海2-4 晴海臨海公園内
- ☎ 03-6204-2466 (11:00~16:00)
- 🕒 通年
- 🕒 常時開館
- 📍 勝どき駅A2a番出口 徒歩10分

勝どき・豊海歴史資料展示館

時代とともに変化するまちで、変わらぬ江戸の伝統美と粋を伝える。



彫刻も金具も、日本の伝統装飾技法の粋を集めた「二号地大神輿」。



流麗な屋根や担ぎ棒先端の金具装飾も見事な子若神輿。



大神輿や子神輿にも掲げられる「二号地」の駒札。



中神輿にも神輿師、浅子周磨の名は掲げられている。



「神輿が掲げる「二号地」とは？」

これは、明治20（1887）年からはじまった東京湾埋立ての二番目の地区のことで、現在の勝どき1丁目から4丁目にあたります。今では「二号地」だけが祭りの時の区割りとして、残っています。二号地神輿の特徴は、大、中、小全ての神輿が塗りではなく、白木でつくられていることですね。豪華で細やかな装飾は、全て職人による手彫りなんです。神輿師は第14代浅子周磨で、室町時代から500余年も続いた名門です。神輿が奉納されたのは昭和10（1935）年です。それから、もう90年が経ちますが、状態はいいですね。大祭が済むたびに解体して乾燥させてますから。修繕には4ヶ月もかかるんですよ。

「御旅所とは
どこなところですか？」

佃の住吉神社の分社のことです。大祭の時には宮神輿が地域を渡御して、御旅所に二泊してから戻るんです。建立されたのは明治34

私も子どもの頃には
小さい神輿を
担いでましたよ



お話を伺った方
勝どき・豊海連合町会 会長
宮森 孝一さん



勝どき2丁目にあった旧御旅所。
住吉神社御旅所
/昭和50(1975)年*



勝どき駅

勝どき1～4丁目



毎月第2土・日
曜日、月島第二
児童公園で開
かれる「太陽の
マルシェ」。

勝どき・豊海歴史資料展示館



小さいが清々しい雰囲気が漂う
現在の御旅所は勝どき4丁目に。



豊海から勝どき5丁目方面を
望む/昭和54（1979）年*



現在の勝どき4丁目一帯の大きな工場。
小幡亜鉛鍍金工場第二工場/昭和32(1957)年*



勝どき・豊海歴史資料展示館

管理者：勝どき・豊海連合町会（平成25年度認定）

- ◎ 東京都中央区勝どき1-9-8 月島第二児童公園内
- ◎ 03-3546-5346 中央区区民部文化・生涯学習課内
- 月～金曜日（祝日・年末年始等を除く）9:00～17:00
- ◎ 土・日曜日 ◎ 10:00～16:00
- ◎ 勝どき駅A4a番出口 徒歩1分



の時代にも変わらぬ地域のシンボルとして、神輿や御旅所を大切に守っていききたいですね。

※臨時休館や開館時間の変更を行う場合があります。詳しくはお問い合わせください。

*画像提供：中央区立京橋図書館

水辺の景色とともにまちを楽しむ

月島エリア 散策MAP

隅田川と運河に囲まれたこのエリアは、
水辺の空気感も心地いい。
自由に歩いて新しい感動を見つけましょう。

★4 中央大橋 ➤ P15

1994年に開通、隅田川に架かる2番目に新しい橋で、新川と佃をつないでいます。フランスの会社が設計し、現「H」が建造。



石川島資料館
➤ P6~7



佃まちかど展示館
➤ P4~5



★5 つくだ煮処 つくしん ➤ P15

すべての佃煮をかまどで手作りする、露地先の小さな店。戦後、親戚の店の佃煮製造をしていた初代が卸専門として独立したのが始まり。



勝どき・豊海
歴史資料展示館
➤ P10~11



★6 月島もんじゃ ストリート ➤ P15

組合に加盟する50軒程の店が軒を連ねるまさにもんじゃ焼きの聖地！下町風情が漂い、大正10年に設置された警視庁最古の交番の建物も残っています。



★7 tricot.bakery and cafe ➤ P15

勝どき駅近くに昨年7月にオープンしたベーカリーカフェ。お店で焼き上げるオリジナルのパンと厳選したスチャリティコーヒーが自慢。



★4 中央大橋

★5 つくだ煮処 つくしん

★6 月島もんじゃストリート

★1 住吉神社

佃・月島、勝どき、豊海、晴海の鎮守。徳川家康の命で大阪堀の人々が江戸へ下る際、現由緒神社の分霊を奉載し、1646年に当地に創建。



★2 於咲稲荷神社、波除稲荷神社 ➤ P14

佃堀のほとりには無人の四社が。こちらの稲荷神社二社は創建不詳の小祠ながら現在もきれいに保たれ、大切にされているのが分かります。



★3 晴海橋梁(旧晴海鉄道橋) ➤ P14

★3 晴海橋梁(旧晴海鉄道橋) ➤ P14

Vol.11で紹介した晴海橋梁は、貨物専用だった晴海線が通っていた鉄道橋で、平成元年に廃線に。この橋の遊歩道化工事が進められています。
※令和7年6月時点



中央区・江戸バス
南循環ルート



江戸バスの情報はこちらから! ▲

まちかど展示館ホームページにて
見どころ散策コースもご紹介しています。



勝どき・晴海コース



佃・月島コース



6 勝どき・豊海歴史資料展示館
宮森さんおすすめ
月島もんじゃストリート

●住所／
中央区月島1～3丁目

お店それぞれの味と共に
下町の雰囲気を感じよう
昭和30年代に4軒だったもん
じゃ焼き店は、平成に入ると
急増。今や各店がしのぎを削
る月島の代名詞となり、観光
客も多く訪れます。月島駅近
くにある総合案内所では無料
の案内マップがもらえます。



4 石川島資料館
竹内さんおすすめ
中央大橋

●住所／
中央区新川2～個1

美しいデザインは兜から
隅田川のビュースポット
都市景観やデザインに配慮し
て設計された、2径間連続鋼
斜張橋という形の橋。橋上には
隅田川とセーヌ川の友好記
念にパリから送られたフロン
ズ像があります。夜のライト
アップも美しく散策に絶好。



2 中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ
於咲稲荷神社、波除稲荷神社

●住所／
中央区個1-8-4

鳥居の中に2つの社
3つのカ石も注目！
境内にある区民有形民俗文
化財のさし石(カ石)は、漁師
達が力比で差し上げたもの。
周囲の玉垣には水産業関連の
社名や地元の方の名前が彫ら
れ、漁師町の人々が信仰し
てきたことが伝わります。

月島エリア散策

おすすめ
スポット

まちかど展示館の皆さんから
おすすめスポットをご紹介します！

歴史ある神社から新しい見どころまでいろいろ。
暑さ対策や休憩タイムもお忘れなく。

※臨時休業や営業時間の変更を行う場合があります。詳しくは
各店へお問い合わせください。

7 中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ
tricot.bakery and cafe

●住所／
中央区勝どき2-9-12
Hビル1F
●TEL／
03-5547-4485
●営業時間／
8:00～21:00
(日曜～20:00)
●火曜定休

本当にパンが美味しい
勝どきに新しい名店が
ザクザクの全粒粉クロワッサ
ン、もっちり高加水カンパニ
ニ等、素材が活きるパンはど
れも美味しく、ランチも大人
気。こだわりのコーヒーはアイ
スも味わい深く、お洒落な店
内ですっきり過ごせます。

5 中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ
つくだ煮処 つくしん

●住所／
中央区個1-2-1
●TEL／
03-3531-7578
●営業時間／
9:00～17:00
●月曜定休

ご飯にお酒にお茶請けに
お土産にも◎の佃煮
店頭で量り売りの店と違い、
炊き上がった佃煮をすぐに真
空パックしているため、味付け
が濃すぎず、浅焼きも可能に。
小売りを始めた3代目現店主
のさまざまな工夫や心遣いが
素敵な佃煮屋さんです。

3 ふるさと晴海資料展示館
滝浪さんおすすめ
晴海橋梁(旧晴海鉄道橋)

●住所／
中央区晴海2丁目地先
～江東区豊洲2丁目地先

遊歩道の開通日が
待ち遠しい！
令和3年より耐震化と遊歩
道化の工事が進められており、
完成後はレールを活用した
ウッドデッキを歩けます。す
でに当時の色が再現されてい
るので開通前でも見に行つて
みたい。

1 佃まちかど展示館
金子さんおすすめ
住吉神社

●住所／
中央区個1-1-14
●社務所取り扱い時間／
8:00～16:30

境内には木綿問屋や
陶器問屋からの寄進も
江戸時代、江戸湊の入口に位
置したため、漁業関係だけで
なく廻船問屋やさまざまな問
屋も篤く信仰。本祭りで巡行
する八角神輿が知られ、区
の有形文化財も多数。住吉三神
や徳川家康が祀られています。

隅田川河口「佃」夏の風情

すしに蕎麦、鰻に天麩羅、酒に珈琲、すき焼きにカレー、鮎にあんみつ：中央区には江戸から今に至る食の痕跡がたくさん散らばっています。浮世絵や日本画、洋画などアートの世界にヒントを得ながら、食の痕跡を追いかけて、絵画の道楽も満喫してみませんか。



①東都名所 佃嶋 歌川国芳 江戸時代・19世紀
徳川家康は幕府を江戸に開くにあたり、佃島に摂津国(大阪)の佃村の漁民を江戸に呼び寄せた。幕府は佃島の漁民たちに、江戸近海で、優先的に漁が出来る様な特権を与え、江戸に大阪の優れた漁法がもたらされることに。

画像提供:

- ① ColBase(<https://colbase.nich.go.jp/>)
- ② ③ 中央区立京橋図書館
- ④ 東京都立中央図書館



②白魚祭り 佃島一
昭和32(1957)年1月17日
江戸時代より毎年十一月から翌三月頃までは盛んに行われた白魚漁は佃島の風物のひとつだった。昭和39年に佃大橋の完成まで隅田川の渡し舟も健在だった。



③江戸ノ富士十景之内 つくだ
歌川豊国(3代目) 1854年

富士を背景とした美人画のシリーズ。空は赤く色づき、もうすぐ陽が沈む頃だろうか。佃島の手前には川に入ることができない菱垣廻船、樽廻船といった大型の弁財船が停泊している。



④夜商内六夏撰 嘉永2(1849)年
歌川豊国(3代) ※版元は伊場仙

夏の夜商いを6種選び、人気の歌舞伎役者を見立てて描いたシリーズ。水菓子売りに扮するのは初代坂東うしか。この他に水売り、虫売り、麦湯売り、植木売り、提灯売りがある。

林 綾野

キュレーター、アートライター



美術館での展覧会企画、美術書の執筆などを手掛ける。芸術家にまつわる「食」のレシピを制作、好物料理の再現などを通じてアートを多角的に紹介。著作に「浮世絵に見る江戸の食卓」(美術出版社)、「フェルメールの食卓」(絵本でよみ画家のおはなし ぼくはフィンセント・ファン・ゴッホ) (講談社) などがある。企画した展覧会「長新太 ナンセンス・ワールド」が福井県ふるさと文学館(7月12日〜9月28日)にて開催予定。



西瓜などの果物は、江戸では「水菓子」と呼ばれ、砂糖が高価な時代にあつて嗜好品として親しまれました。今のように甘味はさほどなかったものの、夏の間、盛んに食べられた西瓜ですが、ここに浮いている食べかけのものはどこからやってきたのでしょうか。たくさん船が行き交う江戸の川には船上で酒や食べ物、果物などを買うことができる「うろうろ船」と呼ばれる船が多く出ていました。歌川(豊国(三代))による「江戸ノ富士十景之内 つくだ」に描かれているように、佃沖は遠く富士を望む絶景スポットでもありました。夕涼みなどで船に乗っていた誰かがうろうろ船から西瓜を買い、何かの拍子に川に落としてしまったのかもしれない。

夏の間、船上だけでなく、江戸の町中のおちこちに果物を売る屋台が出たといわれています。同じく豊国による「夜商内六夏撰(水菓子売り)」を見てみると、水菓子和書かれた看板のもとに山積み、大きな西瓜、真桑瓜など何種類かの瓜がびっしりと並んでいます。清潔な井戸水などに恵まれないエリアでは、水分をふんだんに含んだ西瓜や瓜は水分補給にも役買ったのです。水辺で涼み、果物で体の火照りをさます。江戸の人たちは小さな工夫を重ねながら暑い夏をなんとか乗り越えていったのです。

頭に手拭いを巻き、櫓を引く船頭。小舟に乗った女性たちは揺れに備えるように船縁にしっかりと手をかけています。後ろ姿の女性は、暑さを凌ぐと着物をめくって腕を露わにしています。舟先に見えるのはこの絵の画題ともなっている佃島。舟は大きな橋の下をちょうど通るところです。佃島を前に、隅田川が海へと注ぐこの上に架かる橋は、江戸で最大規模の橋とされた永代橋。女性の目はどうやら橋の上から舞い落ちる紙片に釘付けのようです。この紙片、「川施餓鬼」と呼ばれる水難事故などで亡くなった人を供養する夏の行事にちなんだお札です。

この絵を描いたのは歌川国芳。「東都名所」は、国芳の風景版画を代表するシリーズで、西洋の遠近法を用いた構図が特徴的です。この絵では橋の下という特別なシチュエーションのもとに、橋の影を大きく落とす水面はゆらゆらと波立ち、たくさんのお札が風に揺れ舞う様子など、移りゆく時を静かに感じさせます。何枚ものお札が浮かぶ水面をよく見ると、右端には桶が、左端には食べかけの西瓜がぶかぶかと浮いており、理想化された名所の絵というよりも江戸の人たちが生きるリアルな状況が写し出されています。

夏の水菓子 スイカの潤い

日本橋エリア

13 伊場仙浮世絵ミュージアム

東京都中央区日本橋小舟町4-1 / 03-3664-9261
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 8:00～20:00(店舗は月～土曜日 / 10:00～18:00 / 祝日・年末年始等を除く)



14 小伝馬町牢屋敷展示館

東京都中央区日本橋小伝馬町5-19 十思スクエア別館内 / 03-3546-5346[中央区区民部文化・生涯学習課内 月～金曜日(祝日・年末年始等を除く)9:00～17:00] / 年末年始等を除く毎日 / 9:00～20:00



15 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館

東京都中央区日本橋大伝馬町2-16 / 03-3664-5671
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～17:00



16 イチマス田源 呉服問屋ミュージアム

東京都中央区日本橋堀留町2-3-8 田源ビル / 03-3661-9351
年末年始等を除く毎日(不定休あり) / 10:00～17:30



17 江戸東京組紐 龍工房体験展示館

東京都中央区日本橋富沢町4-11 / 03-3664-2031
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 11:00～16:00
※要予約。展示の見学は予約不要。



18 つづら学習館

東京都中央区日本橋人形町2-10-1 / 03-3668-6058
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 10:00～17:00
※つづら制作のため入店できない場合があります。



19 三勝ゆかた博物館

東京都中央区日本橋人形町3-4-7 / 03-3662-3860(平日11:00～16:00)
月、火、木～土曜日(祝日・年末年始等を除く)※不定休あり ※詳しくはInstagramをご確認ください。 / 14:00～16:00 ※1週間前までに要予約。※見学は1時間以内。



20 箱崎町箱四町会神輿庫

東京都中央区日本橋箱崎町26-1 / 03-5962-3137[月～金曜日(祝日・年末年始等を除く)9:00～12:00]
通年 / 8:00～18:00



21 染物展示館・虎の檻

東京都中央区日本橋浜町2-45-6 / 03-3666-5562
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～18:00(土曜日のみ17:00まで)



22 江戸表具展示館

東京都中央区日本橋浜町2-48-7 / 03-3666-6494
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～18:00



23 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー

東京都中央区日本橋1-19-1 / 03-3278-6611
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 平日7:30～19:30 土曜日7:30～13:30



24 聚玉文庫ギャラリー

東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー / 03-3272-3801
通年(祝日・年末年始等を除く) / 10:00～18:30(土・日は17:30まで)



25 兜町・茅場町まちかど展示館

東京都中央区日本橋兜町15-3 坂本町公園内 / 090-2465-4001(10:00～19:00) 担当者:柴 / 通年 / 8:00～20:00



月島エリア

26 佃まちかど展示館

東京都中央区佃1-2-10先 / 03-3546-5346[中央区区民部文化・生涯学習課内 月～金曜日(祝日・年末年始等を除く)9:00～17:00]
通年 / 常時開館

27 石川島資料館

東京都中央区佃1-11-8 ビアウエストスクエア1F / 03-5548-2571
水・土曜日(年末年始等を除く) / 10:00～12:00、13:00～17:00(入館は16:30まで)



28 勝どき・豊海歴史資料展示館

東京都中央区勝どき1-9-8 月島第二児童公園内 / 03-3546-5346[中央区区民部文化・生涯学習課内 月～金曜日(祝日・年末年始等を除く)9:00～17:00]
土・日曜日 / 10:00～16:00

29 ふるさと晴海資料展示館

東京都中央区晴海2-4 晴海臨海公園内 / 03-6204-2466(11:00～16:00)
通年 / 常時開館

まちかど展示館

江戸開府以来400年以上の歴史と伝統を誇る、中央区に伝わる多様な文化資源をご紹介します。

中央区は江戸時代より、わが国の文化・商工業・情報の中心として発展してきた長い歴史と伝統を誇る由緒あるまちです。この魅力を皆様に広く知っていただくため、地域の文化資源を「まちかど展示館」として整備し、開設しています。展示館の規模や展示方法はそれぞれですが、中央区が誇る文化の一端をかいまみることができます。中央区の“ちょっとすごい”をぜひ、お訪ねください。

銀座・京橋エリア

1 江戸ほうき展示館

東京都中央区京橋3-9-8 白伝ビル1F / 03-3563-1771
月～土曜日・祝日(年末年始等を除く) / 10:00～19:00



2 仏壇・仏具の歴史館

東京都中央区銀座7-14-3 / 03-3542-5771
年末年始を除く毎日 / 10:00～18:00



3 渡邊木版画展示館

東京都中央区銀座8-6-19 / 03-3571-4684
月～土曜日(年末年始等を除く) / 月～土11:00～18:30 祝日11:00～17:00



4 月光荘画材展示館

東京都中央区銀座8-7-2 永寿ビル1F、B1F / 03-3572-5605
年末年始を除く毎日 / 月～金曜日11:00～18:00 土・日曜日・祝日11:00～17:00



5 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館

東京都中央区銀座8-7-18(見番通り)かなめ屋ビル1F / 03-3571-1715
火・日曜日(祝日・年末年始を除く) / 火～金曜日11:00～20:00 土・日曜日12:00～17:00



6 足袋の博物館

東京都中央区新富2-2-1 / 03-3551-0896
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～17:00



7 ミズノプリンティングミュージアム

東京都中央区入船2-9-2 ミズノブリテック株式会社 6F / 03-3551-7595
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く)※要予約 / 10:00～12:00、13:00～16:00



8 松竹大谷図書館

東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3F / 03-5550-1694
月～金曜日(祝日・年末年始・毎月最終木曜日・5月1日、11月22日、春期および夏期整理期間を除く) / 10:00～17:00



9 のれん・提灯・下絵の展示館

東京都中央区築地6-5-5 / 03-3541-3741
月～土曜日(祝日・年末年始・市場休業日等を除く) / 9:00～17:00



日本橋エリア

10 楊枝資料館

東京都中央区日本橋室町1-12-5 / 03-5542-1905
月～土曜日(祝日を除く) / 月～金10:00～17:00 土12:00～17:00



11 Daiichi Sankyo くすりミュージアム

東京都中央区日本橋本町3-5-1 / 03-6225-1133
火～日曜日・祝日・振替休日(年末年始等を除く)※要予約 / 10:00～17:30



12 小津史料館

東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル / 03-3662-1184
月～土曜日(年末年始等を除く) / 10:00～18:00

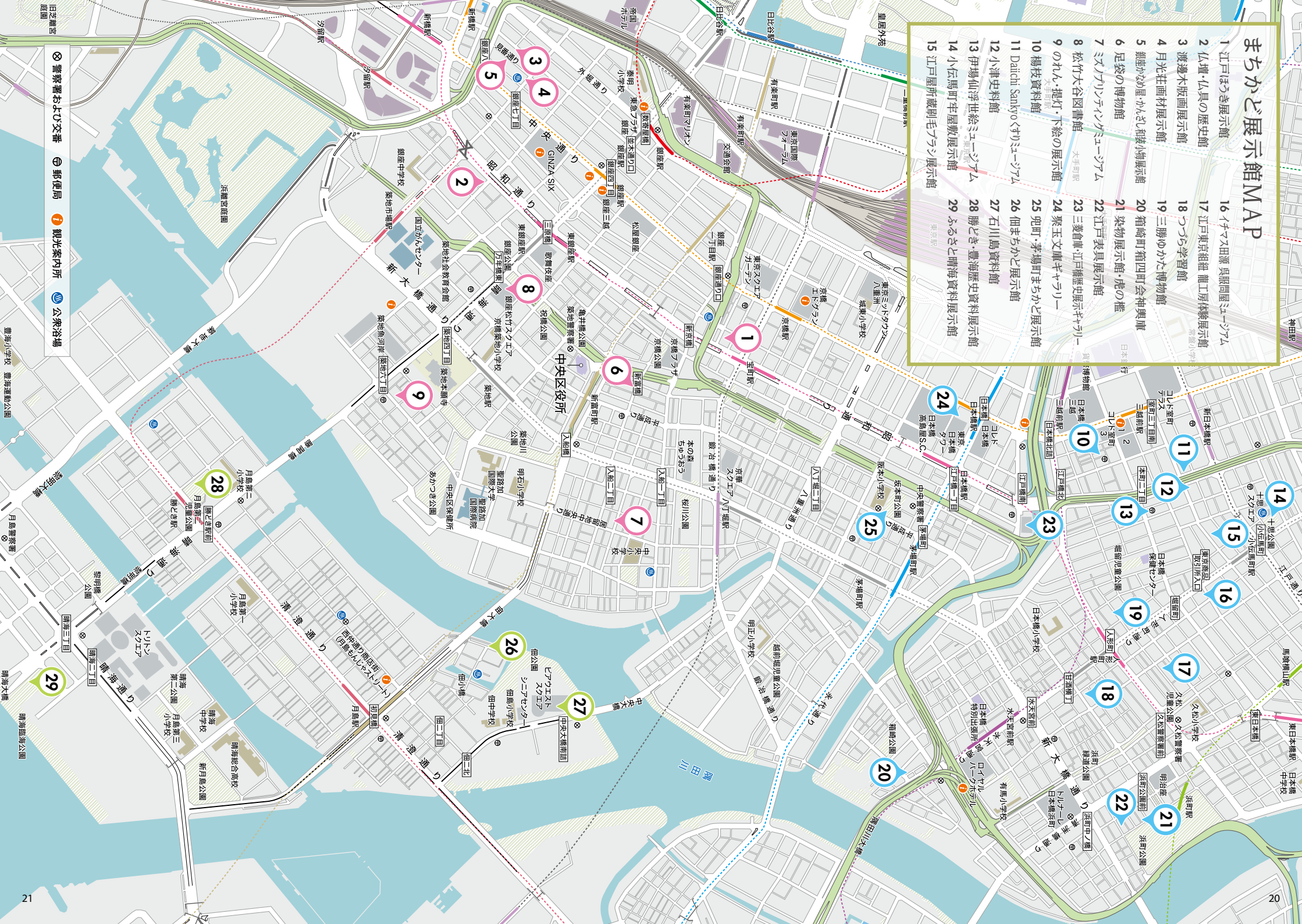


※臨時休館や開館時間を変更している場合があります。詳しくは各館にお問い合わせください。

スタンプを設置している展示館です。

まちかど展示館MAP

- 1 江戸はうき展示館
- 2 仏壇・仏具の歴史館
- 3 渡邊木版画展示館
- 4 月光荘画材展示館
- 5 銀座かんざし館・和装人形展示館
- 6 足袋の博物館
- 7 ミスプリリテラチュアム
- 8 松竹大谷図書館
- 9 のれん・提灯・下絵の展示館
- 10 楊枝資料館
- 11 Daichi Sankyoベトナムミュージアム
- 12 小津史料館
- 13 伊場仙浮世絵ミュージアム
- 14 小伝馬町半屋敷展示館
- 15 江戸屋新蔵刷毛グラフィック展示館
- 16 イチヤス田源 呉服問屋ミュージアム
- 17 江戸東京細盤 龍工房体験展示館
- 18 つづら学習館
- 19 三勝ゆかた博物館
- 20 箱崎町箱四町会神輿庫
- 21 染物展示館・虎の檻
- 22 江戸表具展示館
- 23 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー
- 24 聚玉文庫ギャラリー
- 25 兜町・茅場町まちかど展示館
- 26 佃まちかど展示館
- 27 石川島資料館
- 28 勝どき・豊海歴史資料展示館
- 29 ふるさと晴海資料展示館



☎ 警察署および交番 📮 郵便局 📍 観光案内所 🛀 公衆浴場

アンケートにお答えいただいた方から

抽選で毎月5名様に まちかど展示館オリジナルグッズをプレゼント!

本誌のアンケートはがきまたはまちかど展示館ホームページにあるアンケートフォームでアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で毎月5名様に、素敵なプレゼントを差し上げます。どうぞお気軽に本誌へのご意見やご感想をお寄せください。

■応募締切とプレゼントの発送

毎月末日(当日消印有効)。当選者様へは、翌月10日前後にプレゼントを発送します。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

※アンケートにご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送やご記入者様への諸連絡、また個人が特定できない統計資料の作成に利用させていただきます。個人情報は厳重に管理し、第三者への提供・開示はいたしません。

■アンケートに関するお問い合わせ

中央区まちかど展示館運営協議会(中央区文化・生涯学習課内) TEL.03-3546-5346

中央区まちかど展示館

オリジナルスタンプラリー

「まちかど展示館パンフレット」P31~P34に掲載のオリジナルスタンプラリーに参加してみませんか。展示館内にスタンプを設置していない下記4館を除く25館のスタンプをすべて集めるとコンプリート特典をプレゼントしています。なお、プレゼントをお選びいただくことはできませんのでご了承ください。

■ご注意:

- 展示館内にスタンプを設置していない下記の4館については、中央区まちかど展示館協議会事務局(区役所8階 文化・生涯学習課)で押印します。
②⑩箱崎町箱四町会神輿庫 ②⑪佃まちかど展示館 ②⑫勝どき・豊海歴史資料展示館 ②⑬ふるさと晴海資料展示館
- 臨時休館や開館時間を変更している場合があります。
- プレゼントをお選びいただくことはできません。●当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- 今回の応募を利用された際の個人情報は、当イベント以外の目的で使用することはありません。

■応募方法:

●メールの場合 メールアドレス b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp

スタンプシートのスタンプが全て写るように撮影し、メール本文にお名前、年齢、住所、電話番号、職業または学校名、メールアドレスを記載してください。

●持参する場合

下記応募先に押印済みのスタンプシートを持参してください。



染料展示館・虎の檻



江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館



のれん・提灯・下絵の展示館

※写真は特典の一部です。

■中央区まちかど展示館ホームページ ▶ <https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp>

■中央区まちかど展示館公式SNS



@chuoku.machikadotenjikan



@chuokumachikado



machikadotenjikan

■まちかど展示館スタンプに関するお問い合わせ・応募先

中央区まちかど展示館運営協議会 中央区築地1-1-1 中央区役所8階
TEL.03-3546-5346(中央区文化・生涯学習課内)



キリトリ

キリトリ

1. 本季刊誌をどこでお知りになりましたか?
またはどこでお手に取りましたか?

※複数回答可

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. まちかど展示館 | 2. まちかど展示館HP・SNS |
| 3. 観光情報センター | 4. 区施設 |
| 6. 駅ラック(駅) | 7. その他() |
| 5. 区内飲食店・商業施設等 | |

2. 本季刊誌のVol.1~17をご存知ですか?

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

3. 訪れた展示館名を教えてください。

4. 今後、取り上げて欲しいテーマや内容はありますか?

5. 本季刊誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。